

【問1】 下記の論文群（別冊：A～I）から1つを選び、看護学、理学療法学、作業療法学、放射線技術科学のいずれかの専門領域における実践の観点にたち、選択した論文の論旨について各自の考え（研究方法、データ分析法、結果の解釈、考察、専門分野との関連性、等）を述べよ。文字数は1000字以内とする。

【問2】 問1の解答を基に、研究方法や結果の解釈に対する各自の新しい提案を述べよ。文字数は500字以内とする。

-論文群-

看護学領域

- A：飯島明子，安達久美子，他．子育てひろばに通う母親の「付き合い・交流」の実態—居住年数の違いからの分析—．母性衛生 2016;56(4):683-691
- B：中島久美子，早川有子，他．妊娠期および産後における夫婦の関係性—夫婦関係満足度，妻が満足と感じる夫のかかわりの関連—．母性衛生 2016;57(1):82-89

理学療法学・作業療法学領域

- C：前本英樹，上村恭生，他．高齢肺炎患者のADLに影響を与える要因の検討．理学療法学 2007;34(1):16-20
- D：新井智之，金子志保，他．大腿骨頸部骨折患者の歩行自立に必要な要因—決定木分析による検討—．日本老年医学会雑誌 2011;48(5):539-544
- E：磯谷隆介，吉田一成，他．キネシオテープの貼付有無と方向の違いが大腿直筋の筋機能に及ぼす影響—超音波画像診断装置を用いた検討—．理学療法科学 2014;29(4):589-593
- F：岡真一郎，江頭琢磨，他．急性期脳血管障害症例における Short Form Berg Balance Scale の信頼性，妥当性の検討．理学療法科学 2016;31(2):293-296
- G：平木幸治，堀田千晴，他．糖尿病および糖尿病神経障害の合併が保存期慢性腎臓病男性患者の運動機能に与える影響．理学療法学 2016;43(1):56-63

放射線技術科学領域

- H：宇野公一，井上登美夫，他．各種骨病変検出における臨床的有用性と医療経済効果に関する骨シンチグラフィと ^{18}F -fluorode PET の比較検討．RADIOISOTOPES 2009;58:461-468
- I：吉澤賢史，土橋俊男，他．Phase-Sensitive Inversion Recovery 心臓遅延造影 MRI における高 Flip Angle の有用性に関する検討．日本放射線技術学会雑誌 2013;69(4):380-385